

地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「建設技術フェア 2018 in 中部」 出展
実施目的	この催しは、産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を紹介することを主な目的としています。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成30年10月17日(水) 10:00~17:00 18日(木) 10:00~16:00
会 場	吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)
主 催	国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会、(公財)名古屋産業振興公社
共 催	(一社)中部地域づくり協会、(公社)土木学会中部支部
後 援	農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、 長野県、岐阜県、静岡県、三重県 他
来 場 者	約16,000名(研究所展示ブース見学者 約200名)
実施内容	防災啓発活動 ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作:一般社団法人東北地域づくり協会) ② パネル展示 ・地震:宝永地震、昭和東南海地震、昭和南海地震など ・風水害:狩野川台風から60年、H29年の主な災害など ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017」
実施効果	建設技術フェアは、当研究所の継続的な活動として平成22年より参加しており、今回で9回目の出展となりました。出展テーマを「大規模災害に学ぶ地域防災力の強化」と題し、継がれる先人たちの知恵と教訓をとりあげ、自然災害に対する備えの重要性を分かり易く、パネル展示や映像の上映等を実施しました。体験型の液状化実験には多くの見学者が興味を持たれ、液状化の原理や対策等の質問が多数ありました。

実 施 状 況

